

## 前期日程

### 令和八年度入学試験問題

国語（現代の国語・言語文化・論理国語・文学国語・古典探究）

#### 注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二、解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
- 三、解答用紙は八枚です。
- 四、各解答用紙には受験番号を記入する欄がそれぞれ二箇所あります。すべて記入しなさい。
- 五、試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

一、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(本文は、二〇二五年三月に発表されたものである。)

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この箇所は著作権の関係で  
表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、  
表示いたします。

(戸谷洋志「生命・他者・倫理——あるいはミヤクミヤクくんと友達になることについて」による。)

注1 モビリティ——乗り物や移動手段のこと。

問一 傍線部①～⑤のカタカナを、漢字に直せ。

問二 傍線部(1)「超スマート社会」の説明として適当なものを、次のア～オの中からすべて選  
び、記号で答えよ。

ア 地域間格差のような現代社会にある格差や、不便な生活の解消を目的とする社会。

イ あらゆる情報が融合されることによって、暴力が倫理的に正当化されてしまう社会。

ウ 人間が自分で考えることを必要とせず、人間をシステムに従属させようとする社会。

エ 熟練したタクシードライバーのように、経験の蓄積によってシステムが改善される社会。

オ サイバー空間とフィジカル空間とを融合し、人々に豊かさをもたらす社会。

問三 傍線部(2)「鑑賞者であることと、実験体であることの間には、大きな断絶がある」とあるが、それはどういうことか、前後の文脈を踏まえて説明せよ。

問四 傍線部(3)「ミヤクミヤクくんの身体は、主体の独立の不可能性、「私」と他者を区別する境界の曖昧さを、そのうちに宿している」とあるが、これはどういうことか、一〇〇字以内で説明せよ。

問五 傍線部(4)「私たちはそこまで他者性に対して脆弱なわけではない」とはどういうことか、八〇字程度で説明せよ。

問六 傍線部(5)「私たちはミヤクミヤクくんと「いのち」の一員として融和するのではなく、彼と友達になるべきなのだ」とあるが、筆者はなぜそう考えるのか、本文全体を踏まえて一〇〇字程度で説明せよ。

問七 傍線部(6)「人間の姿を模倣する必要などない」とあるが、なぜか。最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 筆者は人間の輪郭を真似する姿のミヤクミヤクくんではなく、よくわからない姿のミヤクミヤクくんも私たちと同じ存在であることを自覚し、友達になりたいと考えているため。

イ 筆者は人間の模倣をするミヤクミヤクくんではなく、本来の姿でシステムを批判的に捉え直しながら、表面的な姿の違いを乗り越え同じ生命として友達になりたいと考えているため。

ウ 筆者は人間と話しあうための姿のミヤクミヤクくんではなく、一つの「いのち」であるミヤクミヤクくんシステムを通して繋がり合うことで、友達になりたいと考えているため。

エ 筆者は人間が共感できる姿のミヤクミヤクくんではなく、よくわからない姿のミヤクミヤクくんシステムの在り方について話し合い、友達になりたいと考えているため。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

(高瀬隼子「妖精の羽ばたき」による。)

問一 傍線部①～⑤の漢字は読みをひらがなで記し、カタカナは漢字に直せ。

問二 傍線部(1)「彼が鳥の死に驚いて泣いてしまったのは、ここが都会のオフィスビルみたいなキャンパスだからではないだろうか？」とあるが、鹿田は男子学生が泣いていた理由をどのように推測しているか。「田舎」と「都会」という言葉を使って説明せよ。

問三 傍線部(2)「清掃の仕事はいい、と鹿田は思う」とあるが、なぜ鹿田は「いい」と思っているか、四〇字以内で簡潔に説明せよ。

問四 空欄 1 2 に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

1	ア	もしかしたら	イ	当然	ウ	逆に	エ	偶然にも
2	ア	奇妙	イ	空虚	ウ	驚き	エ	不快

問五 傍線部(3)「自分の中でぶくぶくと気持ちが泡立っていくのが分かった」とあるが、「気持ちが泡立つ」たのはなぜか、説明せよ。

問六 傍線部(4)「グレーのパリツとしたスーツを着こなす彼は、学生たちから揶揄された呼び名を付けられることはない」という一文が意味するものとして適当なものを、次のア、イの中から二つ選び、記号で答えよ。

ア 鹿田は、滝が学生たちから一定の敬意を持たれていて、「妖精」などと呼ばれることはないからこそ、学生たちに肩入れし、自由に伸びやかな発想を褒めるという態度を見せていることに気が付き、怒りを覚えている。

イ 鹿田は、長く勤めた仕事を仕方なく辞め、気に入らない蛍光パープルの清掃着を着なければならぬ自分とは違って、仕事場でパリツとしたスーツを着こなし、やりがいのある仕事ができる滝を羨ましく感じている。

ウ 鹿田は、パリツとしたスーツで仕事をする滝には、自分の子どもより若い学生たちに、可憐な清掃着の色から連想した「妖精」という名で呼ばれていると知った鹿田がどう感じるか、想像もつかないだろうと思っている。

エ 鹿田は、滝と学生たちについて、年代や服装こそ、自分にとっての子どもと孫くらいの違いはあるものの、無責任で相手の気持ちや状況を考えられず、意図せず傷つける点ではどちらも同じであると諦めを覚えている。

オ 鹿田は、滝は自分とは違う職員という立場であり、パープルの清掃着を着ることもなければ、学生たちから「妖精」と呼ばれることもないため、自分の気持ちは理解できず、傷つけないための配慮もしないと考えている。

問七 傍線部(5)「いつも以上に存在感を消し、透明を心がけて掃除をする」とあるが、この時の鹿田についての説明として最も適当なものを、次のア、イの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 自分と晴れやかな学生の差を感じ、自分は存在しないものとしてより強く言い聞かせて、心が荒れるのを防いでいる。

イ きれいにしておかなければならない晴れの日に、自分のような存在が目立ってはならない、と自重している。

ウ これから社会に出ていく学生に対し、目立たないながらも懸命に働く自分の姿を見せておきたいと考えている。

エ 輝いて見える学生への憎悪を悟られるとさらに揶揄されるかもしれない、そうした気持ちを隠そうとしている。

問八 傍線部(6)「鳥が死んだと思って泣いていたあの学生に、もつと早く教えてやればよかった」とあるが、その理由として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 透明なガラスにぶつかって死ぬことがいかに悲しいものであるか、気持ちを分かち合えると思ったから。
- イ 亡くしたばかりのインコと死んだ鳥を重ね合わせて悲しむことは、事実と違い無益だということを伝えられるから。
- ウ 鳥が死んでいなかったことを伝えることで、不安な気持ちを少しでも和らげてあげられると思ったから。
- エ 意識して軽薄を気取る学生とは違い、鳥の死を悲しむことができるのは素晴らしいことだと感じたから。
- オ 透明な存在でありたいと願う自分でも、人目を気にせず泣いてしまうことはあるだろうと考えたから。

問九 傍線部(7)「透明になれ」と鹿田が口に出してつぶやくのはなぜか。最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 鹿田は学生たちが清掃員の仕事に注目し、清掃員たちを「妖精」と認識していることに気が付き、自分の存在が恥ずかしくなる。学生たちに見られても恥ずかしくない自分になりたいと思い、「透明になれ」とつぶやいている。
- イ 鹿田は「妖精」という可愛らしい呼び名に反して、清掃員が学生たちにとって迷惑な存在だと気づいてしまう。知らず知らずのうちに他者を傷つけてしまう清掃員としての自分から逃れたいと思い「透明になれ」とつぶやいている。
- ウ 鹿田は学生たちが清掃員を自分たちとかかわりのない「妖精」と認識することで、声をかけられることを迷惑だと感じていることを理解してしまう。学生たちにかかわるために、「妖精」としての自分から逃れたいと思い、「透明になれ」とつぶやいている。
- エ 鹿田は学生たちから一人の人間でなく清掃をする「妖精」として見られていることを自覚し、自らの姿を意識してしまふ。学生たちから規定される「妖精」としての自分から逃れたいと思い、「透明になれ」とつぶやいている。

三、次の文章は『十訓抄』の一節である。これを読んで、後の問いに答えよ。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

権き  
表示  
得ら  
表示  
が得  
諾ら  
す。  
著者  
は許  
諾し  
た。  
所を  
許し  
た。  
個係  
のま  
せ載  
まし  
た。  
この  
ま掲  
れい

(本文は「新編日本古典文学全集」(小学館)による。一部改変を加えている。)

注1 半物——それほど身分の低くない召使の女。

注2 兵庫頭源仲正——「兵庫頭」は兵器等を管轄する兵庫寮の長官。「源仲正」は平安後期の武将。頼政の父。

注3 殿の前駆——「殿」は殿下(摂政、関白の敬称)のこと。藤原忠実あるいは藤原師通など諸説あり。「前駆」は馬に乗って貴人を先導すること。またその人。

注4 醜女——地獄に住む女の鬼。妖怪。

注5 弓矢の本末知らず——弓矢のことなど何もわからない。

注6 怠状せさせて——謝罪状を書かせて。「怠状」は謝罪の文の意。

注7 もとどり——髪を頭上で束ねたところ。もとどりを切ることは、屈辱や処罰を与えることを意味した。

注8 不思議——非常識なこと。けしからんこと。

問一 傍線部①「思ひ出にもせまほしけれ」といふについて、例にならって文法的に説明せよ。なお、例は一行だが、二行以上書いてもよい。

例 弓矢(名詞)の(格助詞)本末(名詞)知ら(動詞)・ラ行四段活用・未然形)ず(打消の助動詞)・終止形)

問二 傍線部②「無沙汰にてありなむ」を現代語訳せよ。その際、「無沙汰」は別の語に言い換え、なおかつ「誰に対して」ということをを本文より補いながら訳すこと。

問三 空欄 a、d に入る最も適切な語を、次のア～クの中からそれぞれ一つ選んで記号で  に記し、さらに適切な活用形に改めて「」に解答せよ。

語群

- ア 逃ぐ(動詞)
- イ やむ(動詞)
- ウ 害す(動詞)
- エ いざなふ(動詞)
- オ 召す(動詞)
- カ さす(使役の助動詞)
- キ ず(打消の助動詞)
- ク ぬ(完了の助動詞)

問四 傍線部③「さり」とては、【AさりとてB】のようにAを受けてBを続ける接続の表現である。AとBに当たる内容を、それぞれ答えよ。なお、Aについては、主語を明らかにした上で、さらに「武芸」という語を用いること。

問五 傍線部④「引き落して」、⑥「這ひ入らむ」、⑧「したり」のそれぞれの主語は誰か。本文中の語句を用いて答えよ。

問六 傍線部⑤「さることはいはじや」について、次の問いに答えよ。

- I 「さる」が最も端的に指し示す箇所を本文中より特定し、最後の五文字(句読点、記号は含まない)を答えよ。
- II 「さることはいはじや」を現代語訳せよ。ただし、「さる」が具体的に指し示す内容は訳さなくてよい。

問七 傍線部⑦「かほどは思はず」とあるが、「仲正」のどのような思いに反して、誰が何をしたのか。本文を踏まえて答えよ。

問八 傍線部⑨「さてやまむやは」について、次の問いに答えよ。

- I 「さてやまむやは」を現代語訳せよ。
- II 「やまむやは」は、どのようなことが、実際にどうなることを見通して述べているのか、具体的に説明せよ。

問九 『十訓抄』と同じジャンルの作品として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選んで記号で答えよ。

- ア 『栄花物語』
- イ 『方丈記』
- ウ 『平家物語』
- エ 『宇治拾遺物語』
- オ 『大鏡』

四、次の文章は、唐代の絵師であり、朝廷では「右相」（宰相クラスの大臣）にまで至った閻立本<sup>えんりつほん</sup>について記されたものである。これを読んで後の問いに答えよ。解答は現代かなづかいでもよい。なお設問の都合で訓点を省略した箇所がある。

この箇所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

（『歴代名画記』による）

注

○太宗——唐の第二代皇帝李世民。

○泛遊——船遊びをする。

○容与——遊び楽しむさま。

○閣内伝呼——殿中で呼びまわる。

○主爵郎中——朝臣の官職名。

○丹素——赤と白の絵の具。

○愧赧——顔が赤らむほどの恥ずかしさ。

○属詞——詩文を作ること。

○丹青——絵画。

○躬厮役之務——身分の低い者の務めをみずから行う。

○姜恪——人名。

○对掌——二人で担当する。

○辺功——「沙漠」のある辺境で異民族を討伐した手柄。

○千字文——当時識字教育に広く使われた書の名。その中に「宣威沙漠、馳誉丹青」の二句がある。

問一

傍線部①「与」、⑦「然」、⑧「終」、⑨「謂」の読みを、送りがなも含めてひらがなで示せ。

問二

傍線部②「愛玩不已」を、送りがなも含めて全てひらがなで書き下し文にせよ。

問三

傍線部③「時」の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び記号で答えよ。

ア 一時

イ 常時

ウ 当時

エ 臨時

オ 平時

問四

傍線部④「今独以丹青見知」の書き下し文として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び記号で答えよ。

ア 今独り丹青の知を見るを以てす。

イ 今独り丹青の知らるるを以てするのみ。

ウ 今独り丹青を以て知を見るのみ。

エ 今独り丹青を以て知らるるのみ。

問五 傍線部⑤「辱莫大焉」を現代語訳せよ。

問六 傍線部⑥「爾宜深戒、勿習此芸」によって、閻立本は子どもに何を伝えようとしたのか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び記号で答えよ。

ア 自分は若年時より読書や作詩が好きであったが、絵が上手であったばかりに、徐々に作詩をおろそかにするようになってしまった。詩人として大成することを望むなら、絵など上手にならないほうがよい、ということ。

イ 自分は若年時より読書や作詩が好きであったが、絵が上手であったばかりに、今は身分の低い者と同様の扱いを受けている。私のような目に遭いたくなければ、絵など上手にならないほうがよい、ということ。

ウ 自分は若年時より読書や作詩に励んできたが、今は身分の低い者と同様の扱いを受けている。皇帝に絵を評価されなければ意味がないので、読書や作詩ではなく絵の練習をしたほうがよい、ということ。

エ 自分は若年時より読書や作詩に励んできたが、今は絵師として仕えている。いくら好きでも才能がなければ大成しないので、自分に合っているものをよく見極めて努力すべきである、ということ。

問七 傍線部⑩「左相宣威沙漠、右相馳誉丹青。」言並非宰相器」とはどういう意味か。七〇字程度で説明せよ。